

学校教育目標	「ふれあおう まなびあおう かがやこう」 <知> 共に学び合い、学習を深めようとする子を育てます。 <徳> 自他の違いを認め合い、基本的自尊感情を高め、お互いを大切にすることを育てます。 <体> 心と体を鍛え、自分や人の命を大切にすることを育てます。 <公> 地域の人や自然とふれあい、進んで関わろうとする子を育てます。 <開> 様々な人々とのコミュニケーションを通じて、お互いを理解しあえる子を育てます。					
	創立 75 周年 児童生徒数: 508 人	学校長 菊原 政臣 主な関係校: 川和中学校	副校長 島田 正樹	2 学期制	一般学級: 16	個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	川和中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	川和中学校 川和東小学校	かかわり合い わかり合い わかち合い ~自分の中で、人の中で、まちの中で、輝く子~ 9年間で育てる資質・能力 [人々と考えや思いを共有するコミュニケーション能力] 人とのつながりを大切にした小中連携 ①各教科等の学習の充実 ②人権教育 ③様々な教育の場の連携

中期取組目標	○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、対話的・協動的な学びを充実させます。 (低)一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合うことを通して、学び合う楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 (中)「人・もの・こと」との関わりの中で、思いを伝え合い、互いの考えを認め合うことのできる豊かな人間関係力の向上を図ります。 (高)自ら進んで問題解決を図り、自分の考えや思いを表現し共に高め合えるような学習を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできる授業づくりを目指します。 (共通)各発達段階に応じて「聞く力」「話す力」「話し合う力」の能力を設定し、話し合うための基礎基本的なスキルの定着を図ります。 ○「人」「もの」「まち」「自然」とのふれあいを大切に、本物にふれる体験を通して豊かな心を育てます。 ・3年間を通して、新たな価値の発見の場を増やし、豊かな感性を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究推進委員会</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	研究推進委員会	「伝え合うことで自分の考えを深化させる力」を育成するために、「伝えたい！ 分かり合いたい！ 深めたい！」という子どもの姿を目指して研究に取り組んでいく。互いの意見を聞く中で、考えをより深めいけるように、低・中・高学年において目指す姿を設定し研究を進めていく。
知	授業改善				
担当	研究推進委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">徳</td> <td>児童生徒指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童生徒指導委員会</td> </tr> </table>	徳	児童生徒指導	担当	児童生徒指導委員会	全教職員で一貫した指導をしていくために年度始めに児童共通理解研修を行い、どの教職員でもかかわれるようにし、全ての教職員で児童を見守っていく。各学年の教員一名以上を児童指導部の担当に配置し、各学年の問題を共有したり、より細やかで柔軟に対応したりできるよう体制を整えていく。
徳	児童生徒指導				
担当	児童生徒指導委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	体育部	・家庭と連携し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食事や衛生に対する理解を深め、健康に生活することを意識できるようにする。 ・定期的に縄跳びや持久走などを行う集会を行い、楽しく体を動かす機会を設定する。
体	健やかな体				
担当	体育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">公 開</td> <td>地域学校 協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>たわわ委員会</td> </tr> </table>	公 開	地域学校 協働活動	担当	たわわ委員会	①地域の特色を生かし、児童が身近な社会や実生活に関心をもって、主体的に問題解決をしていく学び方を身に付ける。来年度以降の水田・畑学習の実現に向けて、地域・保護者と連携しながら運用の仕方を検討していく。 ②地域の方に児童の様子を参観していただき、学校教育目標に向けた取組について学校運営協議会で協議をして、学校運営の充実を図る。
公 開	地域学校 協働活動				
担当	たわわ委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	いじめの未然予防・早期発見・組織的対応を目指して、いじめ防止対策委員会を中心にしながら教職員間で情報を細かく共有しながら児童が安心して登校ができるような環境づくりを行う。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部・メンターチーム</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部・メンターチーム	①中堅教員の指導のもと、経験年数5年以下の教員が月に1回以上の研修を計画し、教師としての職務の資質向上が培われるようにする。②諸会議の構成を見直し、管理職が参加しやすい体制を整え、学校経営の充実を目指す。③コーディネーターを中心としたチームでの学年経営を試み、指導の効率化や児童指導の有益性を目指す。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部・メンターチーム				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援委員会	①特別支援教育コーディネーターチームを中心に個別の支援や配慮が必要な児童の具体的な対応を学年・ブロックと共に検討し、困り感の解消につなげる。②児童・保護者と共に「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を丁寧に作成し、関係職員で情報をしっかり共有する。③外部の関係機関と連携を図り、より充実した支援内容や環境整備ができるようにする。④特別支援教育の充実を目指して職員研修を計画・実施する。
特別支援教育					
担当	特別支援委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権福祉委員会・音楽部・図書部</td> </tr> </table>	豊かな心		担当	人権福祉委員会・音楽部・図書部	・人やものとの関わりの中から規範意識をもち、自分らしさをのびのびと発揮するとともに、他の人のよさを認め、共に生きることを大切にする心を育てる。音楽朝会で友達とひとつの音楽を作り上げることを通して、自分らしく表現することの楽しさを感じる心、友達の表現のよさを認める心を育てる。読書活動を通して、いろいろなものの見方や考え、感じ方に触れ、自分らしさや多様性について考えを深める。
豊かな心					
担当	人権福祉委員会・音楽部・図書部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">SDGs</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活部</td> </tr> </table>	SDGs		担当	特活部	委員会活動で、SDGsを意識した活動目標を決め、実践する。学校全体でSDGsの取り組みを通して、目標の視点を定め、理解を深め、学ぶことへのモチベーションの向上や一人一人の自己有用感を図る。学校の清掃や花をいっぱいにする活動を計画し、まちづくりや環境問題について考える力を身に付け、学校を中心とした地域に愛着をもてる子の育成を図る。
SDGs					
担当	特活部				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					